



愛媛県立三間高等学校

〒798-1115

愛媛県宇和島市三間町戸雁 764-3

TEL 0895-58-2031

FAX 0895-58-3162

昭和 23 年 県立三間高等学校設置許可

校訓「自律・清純・友愛」の精神に基づき、豊かな人間性と社会人としての資質を備え、地域文化の創造と産業の発展に貢献できる人材を育成することを教育方針とし、「一人一人のよさを見つめ伸ばす教育の実践」を重点努力目標とする。

学級数:6 生徒数:113 普通科・農業機械科

三間高瓦版は「道の駅みま」に置いています

三間高校は小規模ながら、各組織や有志が率先してボランティア活動に取り組んでいる。生徒会は、三間高瓦版（三間町観光案内のマップと、三間高のトピックを掲載したもの）を「道の駅みま」にて配布している。今回は、JR 伊予宮野下駅待合室でのクリスマスの飾り付け、アサザやチューリップの植え付け、人権あったかコンサート等の話を掲載している。また、生徒会と運動部有志が地域の行事「じゃこ天カーニバル」や三間町納涼祭に参加している。

そのほかに、農業クラブは公園及び道路横の花壇等の美化活動や隣保館祭りでの花苗の販売を行っている。また、クリスマスイブには、中山池自然公園イルミネーションとコラボするように、手作りの竹灯籠を設置したり、大晦日には龍光寺参道にも竹灯籠を設置して、初詣の参拝者の足下を明るく照らしている。また、家庭クラブの保育園でのクリスマス会開催、海外研究部のカンボジアに義援金や物資を送る活動、ボランティア部の宇和島市身体障がい者体育大会への参加、始業前の清掃活動、箏曲部の、高齢者施設や保育園の訪問演奏など、様々なボランティア活動を実施している。

特に今年は、商工会が行っている中山池自然公園イルミネーションの取り付け作業に、生徒有志 22 名が参加した。生徒からは、なかなか関われない人たちと交流できるいい機会であったこと、大変だったけれど、みんな頑張って協力してできたこと、できたときにはきれいであれしかったことなどの感想が寄せられた。



寄せられた生徒からの感想で、社会の一員であることを自覚し、互いが支え合う社会の仕組みを考えることができたようである。

地域の役に立ったことで、自分が大切にされていることに気付き自己肯定感や社会的有用感を獲得することで、他の人も大切にしようと思うことのできるボランティア活動に、今後も積極的に参加していきたいと思う。



愛媛県立北宇和高等学校

〒798-1397

愛媛県北宇和郡鬼北町大字近永 942 番地

TEL 0895-45-1241

FAX 0895-45-2150

昭和 13 年 愛媛県立北宇和農業学校開校

昭和 23 年 愛媛県立北宇和高等学校に改称

協和・責任・健康を校訓に、心を磨き豊かな心を育成し、体力を養い、健全な身体を育成し、確かな学力を定着させ知力を伸ばすことを教育目標とする。

学級数：9 生徒数：316 普通科・生産食品科（生産類型・食品類型）

クリスマスは福祉施設で共に楽しく

家庭クラブでは、校内外の清掃、養護老人ホーム等の福祉施設訪問等、月に1度のボランティア活動をしている。クリスマスには、役員がゲーム等を企画し、旭日荘南愛媛療育センターと広見広楽荘を訪問し交流する。VYS 部や吹奏楽部も参加して、日ごろの練習の成果を発揮してくれる。施設の方には「いつも北高生に来てもらい元気になれます」「子どもたちが楽しみにしています」と喜んでいただいている。療育センターからは感謝状もいただいた。

VYS 部は、鬼北町精神保健ボランティアグループの七夕会や運動会に参加したり、長期休暇を利用して保育所のボランティアをしたりしている。生徒は楽しかったようで、進路を考えるきっかけにもなったようである。

生産食品科では総合実習の一環として、わくわく農園を実地。地域の小学生を招き、野菜の植ええや芋ほり、お菓子作りなどを一緒に行う。

自らが希望して参加をするボランティア活動なので、自主性が育ち、異世代間交流では思いやりの心が育まれているようだ。地域の方からの温かい言葉にエネルギーをもらっている。



VYS 部の生徒の話
ボランティアは初めて会う人と話すことができるのでコミュニケーション能力が向上する。将来、体の障害のある人の役に立てる仕事につきたい。



クリスマス会



保育所訪問



七夕の会

自主的な活動であれば楽しくその意義を感じるのではないかと思います。しかし、参加したくても部活動や課外授業と重なり参加できない生徒もいる。

人口減に伴い、地域の高校生にかける期待は大きい。すべてを受け入れるのは難しいが、今後も継続した活動を続けていきたい。



愛媛県立津島高等学校

〒798-3302

愛媛県宇和島市津島町高田甲 2469-1

TEL 0895-32-2304

FAX 0895-32-3046

昭和 23 年 愛媛県立津島高等学校として設立

自律・自尊・克己」を校訓とし、「確かな学力と豊かな心を育て、社会に役立つ力を身に付ける教育の推進」を重点努力目標として、自分の成長を通して社会に貢献する姿勢を身に付けた人材の育成に努める。

学級数：7 生徒数：204 普通科

積極的に交流する！

家庭クラブでは、年 1 回、考査最終日や終業式の午後を利用して施設訪問を実施している。救護施設つしま荘では、草引きや窓拭きなどの清掃活動を実施している。清掃を終えた後は、入所されている方や職員の方から陶芸を習い、湯飲みや花瓶を作る体験をすることが恒例になっている。生徒たちは、土こねから丁寧に教えていただき、回して陶芸を習う生徒も多い。

また、介護老人保健施設ふれあい荘では、ゲームなどを通して 1 時間ほど高齢者と交流する。この訪問も伝統のある行事で、高齢者の方々楽しみに待ってくださっている。お別れのときに交流したおばあさんが涙を流してくれたと感動する生徒、職員の方と夏祭りのボランティアの約束をして帰る生徒など積極的に交流ができています。

家庭クラブの行事は、4 月に年間活動計画を発表し、さらに各行事の前に役員が作ったポスターを掲示して参加者を募っている。1 年生は必ず参加、2、3 年生は希望者としている。



つしま荘



ふれあい荘

生徒会は、宇和島市主催のイベント「じゃこ天カーニバル」等に参加している。

生徒は活動を通じて、「他人の役に立つ」と実感することで自己有用感を育み、相手を理解しようと努めて、共感することでコミュニケーション能力を向上させ、社会に求められている『共生』の在り方を体験的に学んでいる。

本来なら、個々の生徒が自分のできることを見つけて、自主的にボランティア活動に参加する力を育てたいと考えているが、現状ではなかなか難しい。本校では、クラス数減に伴い教員数も減っているため今までの活動を継続していくのが精一杯な状態だからである。

現在の活動を継続しながら内容や方法を工夫して、自ら考え行動できる生徒を育てていきたい。

じゃこ天カーニバル



愛媛県立南宇和高等学校

〒798-4192

愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城 3269

TEL 0895-72-1241

FAX 0895-72-6510



明治 40 年 南宇和郡立水産農業学校として創立

昭和 23 年 愛媛県立南宇和高等学校と改称

真知・闊達・創造を校訓に、21 世紀社会の形成者を目指して、大いなる文化の創造と発展に寄与する自主的精神に満ちた、心身ともに健康な生徒の育成に努めることを教育方針とする。

学級数 15 生徒数 565 普通科・農業科

お遍路さん、柑橘類をどうぞ

農業クラブでは、昨年、国道に面した所に果実のなる甘夏や、愛南ゴールドなどの接待木を植えた。40 番の札所があるので、ここを通るお遍路さんに一息ついてもらおうというものである。食してもらうためには、4~5 年掛かるが、生徒が大切に育てている。この活動がきっかけで、スペイン巡礼路との交流にもつながっている。

昨年からはまった愛南トライアスロン大会では、給水やゴールテープ、後片付けの補助をしている。大会を観戦して、競技者の頑張りに感動する生徒も少なくない。

他には、校内活動では、ペットボトルキャップの回収、地域福祉施設や地域のイベントのお手伝いなどがある。校外活動は、主催者からの依頼により、希望者を募って参加している。介護施設では、高齢者と座席に座って話をする生徒もいる。地域の人とはとても頼りにしていただいている、イベントに参加すると、「どのような参加の仕方でもいいよ」と、とてもあたたかく歓迎してくれる。地域の活動への引率が無理な場合は、地域の人をお願いすることもある。

小さな活動でも、自分たちの活動が社会のどこかで役に立っているという喜びを感じることができている。また、自分を取り巻く地域の活動や高齢者施設、児童福祉施設について実態を知ることができる。地域に一つしかない高校なので、ともすれば閉鎖的になりやすいと思われるが、異年齢の人との交流により幅広いコミュニケーション能力を身に付けたようだ。

ボランティアに 70 時間参加した生徒に学校独自で証定書を渡しているが、ボランティアの全国的な評価システムがあればいいと思う。



愛南トライアスロン大会



接待木を植える



グリーンツーリズムフェスタ